



「幼保小連携だより」

# 育ちと学びをつなぐ

今年度も小学校の就学時健康診断の折に保護者へ配付していただくリーフレット「安心して入学を迎えるために」を作成し、学校に送付いたしました。

小学校では、スタートカリキュラムのマネジメント研修の資料としたり、園では入学を待つ子どもたちの期待を膨らませたりと、工夫して活用してくださっていることを大変うれしく思っています。



## 第 2 回 幼保小接続期研修会

### 「子ども理解に基づいた幼児期から小学校への円滑な接続」



10 月 24 日、第 2 回幼保小接続期研修会を開催しました。

実践報告では、「学びに向かう力をつなぐ接続期カリキュラムの実際」について横浜市中川西保育園の藤本真維先生と横浜市立飯島小学校の久保直之先生による実践を二人の語り合いを通し考える機会となりました。

講演会は、講師に横浜市立新井小学校・新井中学校 桜坂分校副校長西田 寛先生をお迎えして、「子どもに内在する力をひきだす」と題し、向陽学園（児童自立支援施設）と桜坂分校（学校）の職員がどのように協働し、一人ひとりの子どもたちとの信頼関係を築いていかれたのかご講演いただきました。

#### 実践報告 「学びに向かう力をつなぐ接続期カリキュラムの実際」

中川西保育園の藤本真維先生は、子どもたちのやってみよう活動、心を動かす時間を増やすことを意識して日々の保育に取り組み、「山づくり」の活動を通じた A さんの成長の姿を伝えていただきました。

また、飯島小学校の久保直之先生は、「学校探検」を通して主体的に学び、人との関係を築き安心して学校生活を楽しめる子どもの姿を伝えていただきました。

園で培った「学びの芽生え」を小学校で「学びの芽」として大切につなぐことが、学びに向かう力を育てることを実感できる実践報告でした。

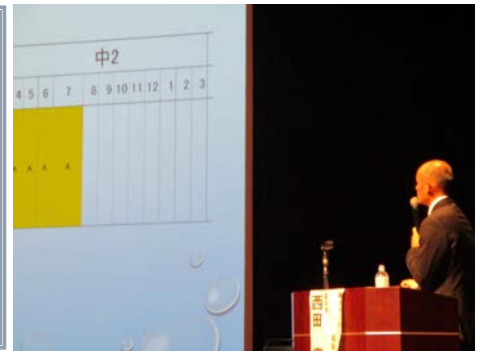
#### 参会者の声

- ・幼保小の連携の在り方を如実に示していた。幼保小の連携の重要性を認識し、真摯に取り組むことこそ、一人ひとりの子どもの豊かな成長につながる。
- ・信頼関係を築くには子どもとのコミュニケーションも大切だが、職員間での連携が最も大事なことだと思った。
- ・幼児期も学童期も子どもの思いや気付きから指導計画が実践される教育が広がるとどんなにすばらしいか。「肯定的子ども観」が印象的だった。
- ・卒園がゴールではなく小学校生活を見据えた内容を考えることの大切さに気付いた。
- ・つながりの大切さを感じた。学びの芽生え、学びの芽を大切に子どもの思いや願いを捉えていきたいと思った。
- ・幼保小連携により 1 年生の迎え方がここ数年変わってきたことを感じている。小学校は、幼保でどのような力を身に付けているのか、もっと知る必要がある。

## 講演「子どもに内在する力をひきだす」

### ～向陽学園・桜坂分校の協働が拓く子どもの未来～

桜坂分校副校長 西田 寛先生は、入学する生徒の状況から、卒業までの成長の姿を通し、一人ひとりの生徒に学園と分校の職員がどのように連携・協働して向き合い、互いの信頼関係を築き上げているのかを熱く語っていただきました。感想には、感動、感銘の言葉が多く見られました。



## 参会者の声

- ・教職員、支援員が一丸となって子どもたちを見守っていることが、子どもたちの生活を安定させ、学力も伸び、高校の定着率につながっていると感じた。
- ・子どもの望むことにこたえていける関係づくり(大人との)が欲求の満足さにつながり意欲になっていったと思う。
- ・福祉と教育の大切さ、そして乳幼児期に心を尽くして保育・教育することが子どもたちの豊かな未来につながるのだと思った。「ひとりの子どもを育てるには、村中みんなの知恵と力が必要だ」と切に感じた。
- ・大人が真剣に子どもたちに向き合い、育てていくことが子どもの未来を創ることにつながっていると思った。職員の熱い思いや長年の取組が花開き子どもたちの姿に感動し、職員の取組に感動した。
- ・先生方の努力はすごいと思った。一人ひとりをしっかり見て、その子に合った対応をすることで子どもたち自身の変化がみられるのだと思った。
- ・先生の熱心な指導、一人ひとりとの向き合い方、最善の方法で支援や連携を取って考える情熱に心を打たれた。「子どもだから」「〇〇だから」と決めつけず、一人ひとりの姿を捉えて支援していく大切さを感じた。
- ・傷ついた子どもたちに寄り添う大人たちの連携が、子どもたちの意欲を引き出すのだと思った。子ども一人ひとりを理解し、寄り添い、必要な援助をしていくことは、私たち子どもに関わる大人が常に行うべきことだと改めて思った。

## 実践報告・講演会、全体を通していただいた感想

- ・共感と肯定的理解が心に強く残った。
- ・ひとりの子どもを周りの多くの大人が理解することの大切さを改めて感じた。
- ・大人の関わりの重要性、子どものもつ無限の力、私たちの責任、これらを改めて感じた。目の前の子どもに最善の支援をしていくことは、年齢に関係なく必要なことだと実感した。
- ・目の前の今ある子どもの姿を受け止めながら向き合い、認めていくことで子どもたちの自己肯定感を高めることにつながっていくことやその後の意欲に繋がっていくことがよく分かった。
- ・可能性を信じて、その子に合った対応を丁寧に考えていくということを改めて感じた。
- ・子どもを信じる力、子どものことを思う力、子どもたちへの活力等、自分が子どもたちに届けるべき心について学べた。

## 横浜市「幼保小接続期カリキュラム」研究推進地区事業

今年度からの新規事業で、幼保小が協働して接続期カリキュラムのあり方を検討し、園や学校でのカリキュラム・マネジメントを推進することを目的として、4つの地区で研究を推進しているところです。

10月30日(水)には、4地区の校長・園長と事務局で連絡会を開催しました。これから3年間の取組で様々な発信、成果の提供を行います。

区	推進地区	校・園名
神奈川区	池上地区	横浜市立池上小学校
		横浜市西菅田保育園
旭区	二俣川地区	横浜市立二俣川小学校
		横浜昭和幼稚園
磯子区	浜地区	横浜市立浜小学校
		汐見台東幼稚園
金沢区	金沢地区	横浜市立金沢小学校
		光輪幼稚園